

日東紡グループ

2011年度 第2四半期決算説明会



2011年 11月 9日

目次

I .2011年度第2四半期決算の概要

II .2011年度通期業績予想と今後の取組み

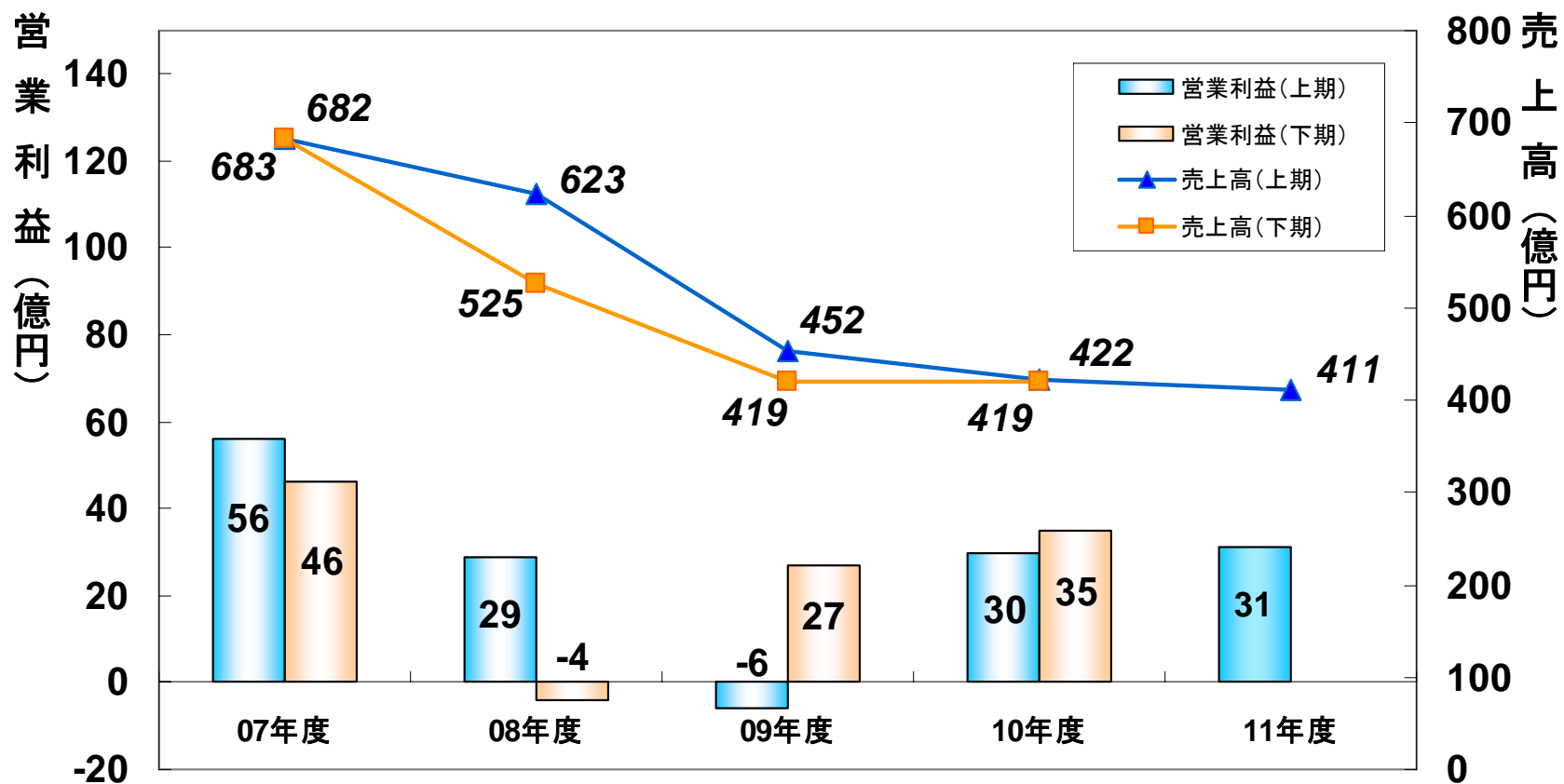
I. 2011年度第2四半期決算の概要

1. 業績概要

(億円)

	2010年度 第2四半期	2011年度 第2四半期	増減	増減率 (%)
売上高	422	411	▲11	▲2.5
営業利益	30	31	1	3.3
営業利益率 (%)	7.1	7.5	0.4	—
経常利益	25	27	2	8.0
当期純利益	11	10	▲1	▲15.6

2. 売上高・営業利益の推移



3. 財務及びキャッシュフロー

(億円)

	2010年度3月期	2011年度第2四半期	増減	(参考)2010年度 第2四半期
総資産	1,280	1,298	18	1,279
純資産	557	556	▲1	542
自己資本比率(%)	42.4	41.7	▲0.7	41.3
1株当たり純資産(円)	272.40	271.55	▲0.85	264.87

	2010年度第2四半期	2011年度第2四半期	増減	(参考)2010年度 通期
営業キャッシュ・フロー	52	24	▲28	115
投資キャッシュ・フロー	▲25	▲15	10	▲41
フリーキャッシュ・フロー	27	9	▲18	74
財務キャッシュ・フロー	▲27	▲18	9	▲55

4-1. セグメント別業績

(億円)

	2010年度第2四半期		2011年度第2四半期	
	売上高	営業利益 (営業利益率(%))	売上高	営業利益 (営業利益率(%))
繊維	36.3	1.6 (4.3)	31.7	1.1 (3.5)
G/F	243.9	21.9 (9.0)	228.4	18.7 (8.2)
環境	77.1	▲0.3 (▲0.3)	83.8	5.0 (6.0)
医薬・飲料	56.3	8.3 (14.8)	60.0	6.1 (10.1)
その他	8.6	1.5 (17.4)	7.9	1.6 (19.9)
消去	—	▲2.9 (—)	—	▲1.3 (—)
計	422.2	30.1 (7.1)	411.9	31.1 (7.5)

4 - 2. セグメント別業績推移(四半期別)

(億円)

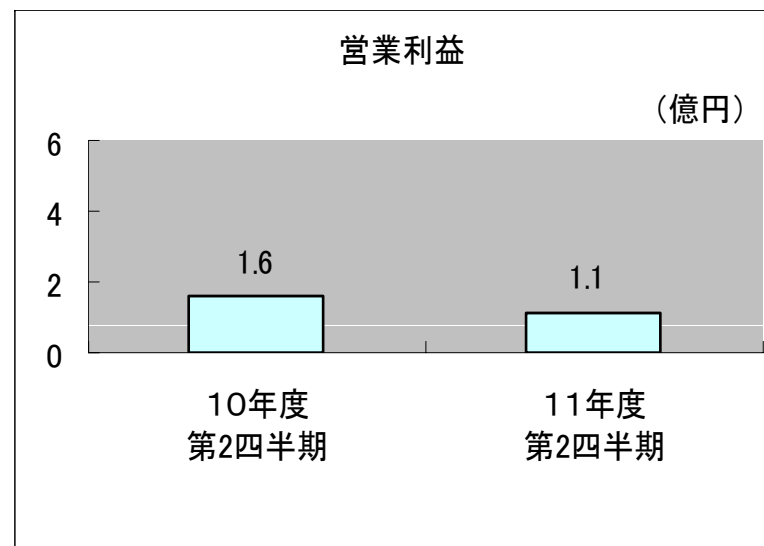
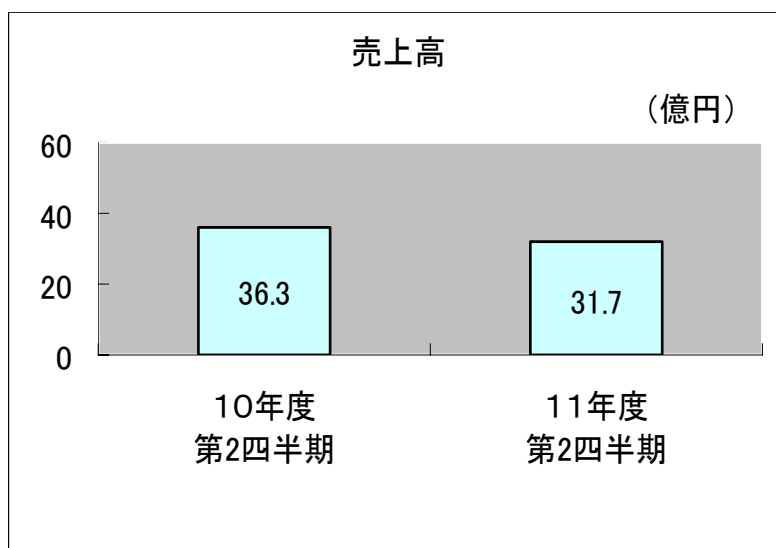
セグメント		2009年度				2010年度				2011年度	
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
繊維	売上高	17.5	18.7	19.5	18.9	18.1	18.1	20.2	17.0	15.9	15.8
	営業利益	0.2	0.9	1.5	0.8	0.9	0.7	1.1	0.3	0.5	0.6
G/F	売上高	89.8	108.9	112.3	121.8	119.6	124.3	120.5	116.9	116.3	112.2
	営業利益	▲7.7	▲2.2	5.0	13.7	11.1	10.8	11.4	11.5	10.3	8.3
環境*	売上高	69.2	79.1	38.9	48.9	32.8	44.4	43.5	50.4	40.3	43.5
	営業利益	▲3.5	0.9	1.0	4.7	▲2.0	1.7	2.5	5.4	1.5	3.4
医薬・飲料**	売上高	—	—	—	—	26.4	29.9	22.8	20.2	31.0	29.0
	営業利益	—	—	—	—	3.8	4.5	2.3	1.6	3.3	2.8
その他	売上高	37.0	32.4	30.3	28.0	4.4	4.2	4.1	3.6	3.9	4.0
	営業利益	5.2	5.3	5.7	4.4	0.9	0.6	0.4	0.1	0.8	0.7
消去	売上高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	▲2.3	▲2.9	▲4.0	▲5.1	▲1.7	▲1.2	▲0.5	▲1.3	▲0.7	▲0.6
計	売上高	213.5	239.1	200.9	217.6	201.3	220.9	211.2	208.1	207.4	204.5
	営業利益	▲8.2	2.2	9.1	18.6	13.0	17.1	17.2	17.7	15.8	15.3

* 2009年度の「環境事業」は、旧セグメント区分の「建材事業」の数値を表記しております。

** 2009年度の「医薬・飲料事業」は、「その他」のセグメントに含まれております。

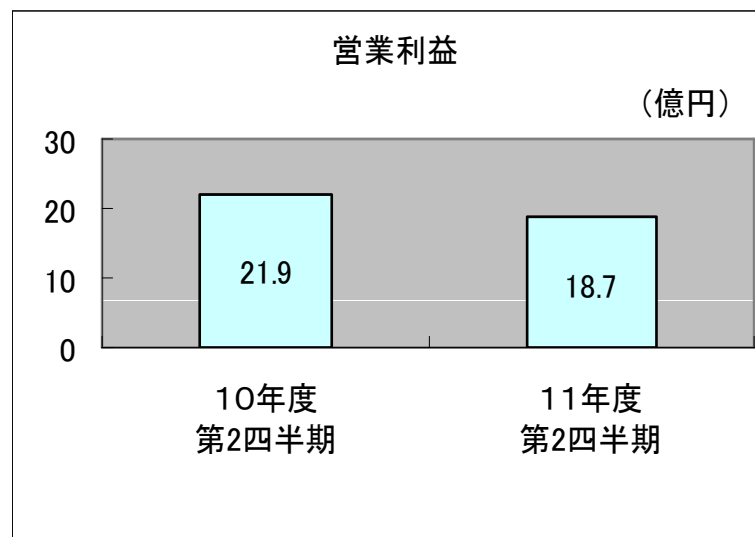
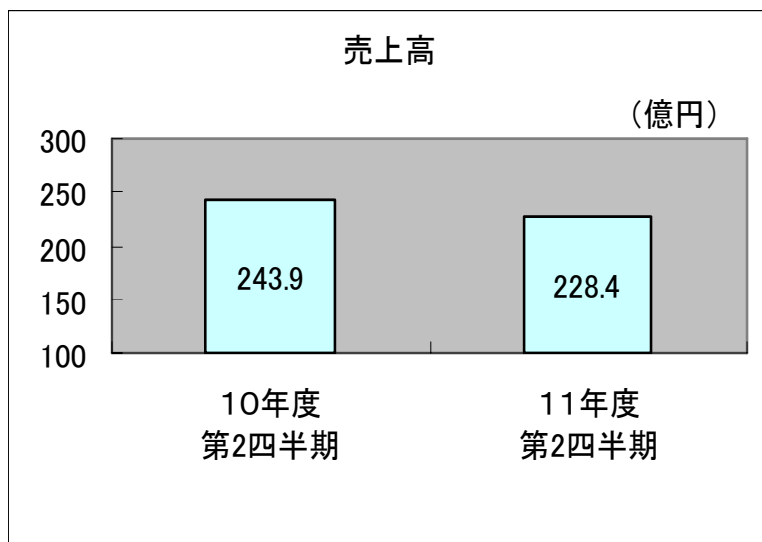
(1) 繊維事業

- 消費者の購買意欲が低迷するなか、新商品の開発や高付加価値品への転換を進めた。



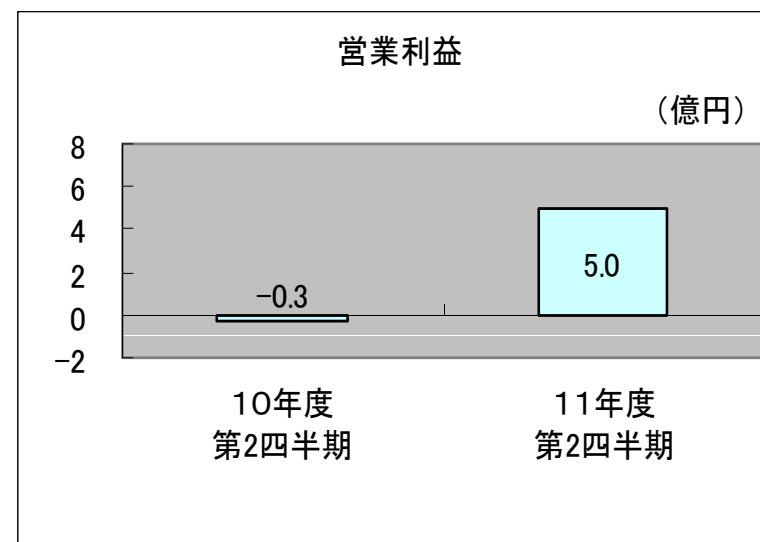
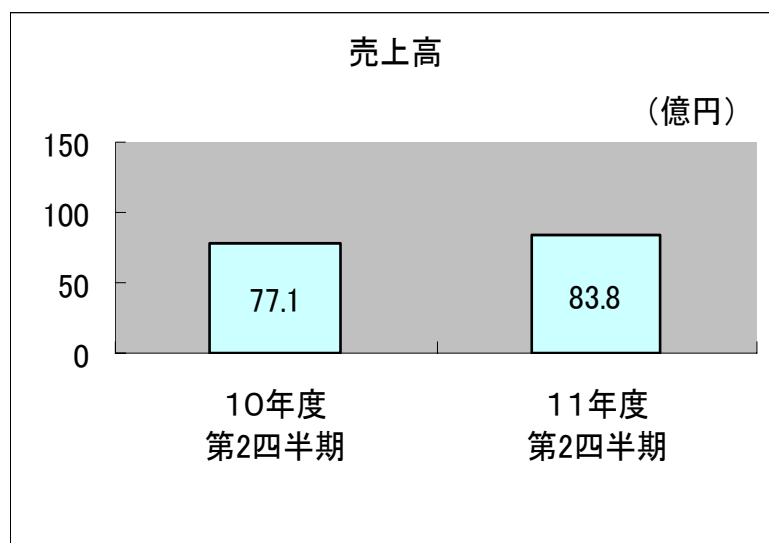
(2) グラスファイバー事業

- 後半に一部で在庫調整の動きが見られたものの、通信機器分野、住宅設備分野が堅調に推移した。



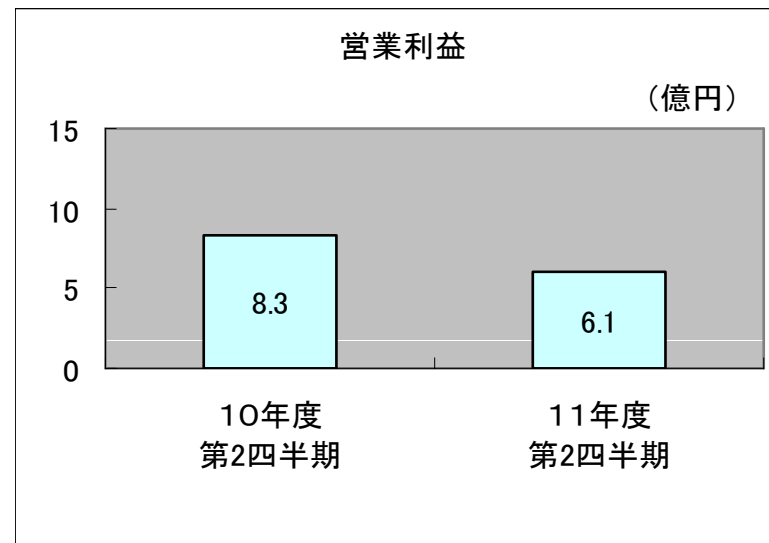
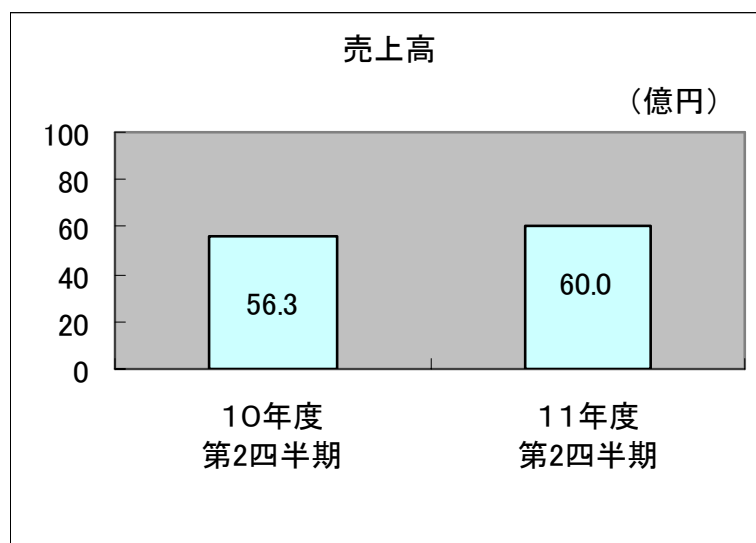
(3) 環境事業

- 断熱材分野は省エネ・環境対応関連の需要の継続により堅調に推移し、エンジニアリング・工事分野も案件が増加した。



(4) 医薬・飲料事業

- 体外診断薬分野はスペシャリティケミカルスとの協働による商品開発などに取り組み、飲料分野は新商品の上市などを進めた。



Ⅱ. 2011年度通期業績予想と今後の取組み

1. 2011年度業績予想

為替: 75円/US\$
 原油価格(ドバイ): \$110/バレル (億円)

	2009年度通期 実績	2010年度通期 実績	11年度 第2四半期 予想	11年度 第2四半期 実績	11年度通期 予想
売上高	871	841	410	411	820
営業利益	21	64	27	31	55
経常利益	14	60	24	27	51
当期純利益	13	28	10	10	24

2. セグメント別動向と今後の取組み

【全体】 ※当社は、セグメント別の業績見込み数値は開示しておりません。

東日本大震災の影響から持ち直しつつある一方、円高の進行や欧州の金融不安、米国経済の停滞が懸念されるなか、収益基盤の強化を推し進め、お客様のニーズに即した高品質な商品の安定供給や、先進的な独自技術の開発を通じて付加価値を創造し、人と地球環境に貢献し続ける。

【セグメント別】

繊維事業	営業と技術が一体となり、日東紡独自の高品質な商品開発を進め、顧客への訴求力をさらに高めていく。
グラスファイバー事業	高付加価値化の推進・収益構造の一層の強化を図り、環境変化への弾力性が高い事業基盤をさらに強固たるものにしていく。
環境事業	断熱材は省エネ関連の需要に対応し、グリーンビジネスおよびエンジニアリング・工事分野は、ニーズに即した商品・技術を提供し、収益基盤を強化していく。
医薬・飲料事業	多様化する顧客のニーズに対応し、幅広い分野で安心・安全な商品を提供していく。またメディカル、スペシャリティケミカルスのコラボレーションを推し進め、更なる発展を目指す。

本資料の取り扱いに対する注意事項

本資料に記載されている予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績数値や施策の実現を確約・保証するものではありません。